



旭自治会だより

令和6年4月1日 第74号 発行 旭自治会

TEL: 0771-22-5533

HPアドレス: kameoka-asahi.com (QRコード)



令和6年 新年度を迎えて

4月、春暖の新しい年度が始まりました。ようやく朝夕の厳しい寒さから日差し輝く桜の季節を迎えました。春の穏やかな日差しの季節ですが、ここ数か月の天候は変わりやすく、今年1月以降のお天気を調べてみると、例年ですとこの時期3カ月で約50%以上は晴れの日があるのですが、今年は晴れの日が約30%以下のように、また最近の気温が例年よりも低いため、桜の開花が全国的に遅れているようです。

例年ですと、3月末には満開となるのですが、今年は地元川東地域の開花も少し遅れているようです。旭町自治会内の桜も昨年よりも遅れているように思います。今年も4月7日に「花を楽しむ会」を予定していますが、去年は2日に開催してちょうど満開でしたので、ことしの開催日は桜の状態にとっては、大変良いのではと期待しておりますが、ただ心配なのは天候です、多くの方々のご参加をお願いしますと同時に、良いお天気を願うばかりです。

さて、4月、令和6年の事業年度が始まりました、今年には自治委員の任期満了による改選の時期となりました、新役員につきましては次号で掲載させていただきます。各自治委員の皆様にはよろしく願いいたします。

またこの時期は新年度を迎えるにあたり、行政機関や一般会社等では職員、従業員の皆様が職場の異動の季節です、先日から京都府や亀岡市で異動される職員の方々が新聞紙上に掲載されておりましたし、また学校の先生方の異動もあります。皆様の新しい職場でのご活躍を願っておりますが、旭町の自治活動と大きくかかわってご指導いただいた方々には大変お世話になりました。そしてこれから新たにお付き合いさせていただく方々には、何卒引き続きのご指導を今まで以上にお願いをよろしくと申し上げたいものです。

4月 桜の季節、各地で桜まつり・夜桜ライトアップと綺麗なイベントが数々予定されております。桜の開花、新緑、初夏へと季節が進みます、旭町の農家の皆様には、農作業の季節が始まります、様々な作物の豊作を祈りますとともに、ことし新たな職場に異動される方やことし就職されて初めての職場を経験される皆様、ご活躍ご期待申し上げます。



旭町自治会 吉川 肇

令和5年度で退任される役員の皆さん

ありがとうございました

副自治会長 田中 喜代嗣様・山階区長 人見 重男様

印地区自治委員 岩田 康裕様・印地区自治委員 射場 亨様

令和5年度 自治会運営にご協力いただき有難うございました。

今後ともご協力の程、宜しくお願いいたします。



◎令和5年度 旭サポートカー事業

無事1年が終了 4月2日（火）新たなスタート

少しでも皆さんの生活の不安を解消したいと取り組んでいる「旭サポートカー」事業。



令和5年度の運行状況です

- ・運行回数は97日でした。
- ・利用者は延べ450人ご利用いただきました。

ボランティア運転手の皆様ありがとうございました。

令和6年度も4月2日（火）より運行

開始いたします。

新たな利用申し込みは4月下旬に全戸配布いたしますので、登録がまだの方はお申込みください。

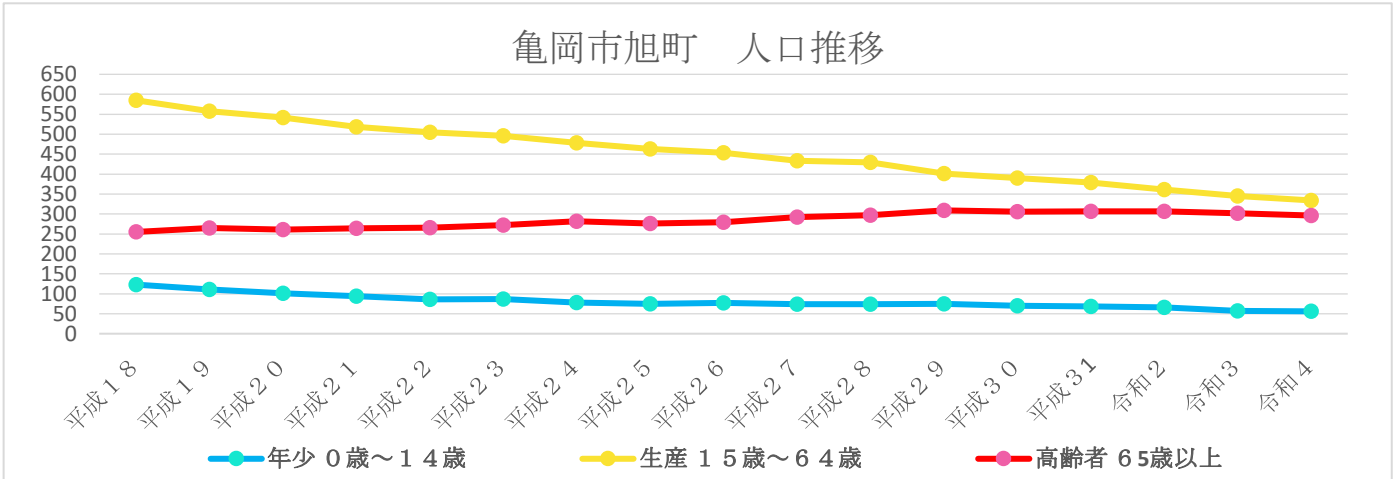


4月の行事予定

- | | | | | |
|----|--------|--|--------------|-----------|
| 4月 | 7日（日） | 「亀岡市消防団 旭分団入退団式」 | 旭コミセン | 午前7時～ |
| | | 「花を楽しむ会」 | 旭コミュニティーセンター | 午前10時30分～ |
| | 9日（火） | 亀岡川東学園入学式 | | |
| | 14日（日） | カワヒガシマーケット | | 午前9時～午後3時 |
| | | 会場：「なごみの里あさひ」「亀公房」「宮前農園直売所」「森田農園ビニールハウス」 | | |
| | 28日（日） | 特別感謝デー | 「なごみの里あさひ」 | 午前9時～ |
| 5月 | 3日（金） | 亀岡光秀祭り | | 午前11時～ |

高齢化が進む旭 新しい風を

昨年（令和5年）の3月現在人口は675人、65歳以上が285人、65歳以下が390人となっている（高齢化率42.2%）ことは、以前お伝えしました。あれから1年が経過し高齢化はますます進んでいると考えられます。



高齢化率が高くなると、様々な社会的な不安が増えてきます。

でも私たちは、今後もこの旭町で住み続けていきたいと思っています。だからといって子どもたちに、ここに住み続けることを強要はしたくありません。

このまま何もしないでいたら魅力のない旭町になってしまいそうです。様々な役職もいつも同じ人、役員決定にも苦慮することもあるように聞いています。



ある記事に「自治会未加入はなぜ？」という記事を目にした。その理由に挙げられていたのが、「役職につくことが嫌だから」という理由だ。そこには若者が多く住んでいるが、町内やそれぞれの役職は、高齢者がなるのがほとんどだ。しかし、町内が活性化するためには様々な年代の人が意見を言い合う必要があるのではないか・・・そんな記事を読ん

だことがある。

その解決策として、若者や女性の参加が挙げられます。彼らの参加により新たな視点で町づくりを考え、活性化につながる可能性があります。

旭町では「ふるさと街づくり連絡協議会」が、その役割を担うためにつくられました。

各部会で高齢者、若者、女性が意見を出し合い、それぞれが役割を果たすことで、魅力ある旭町になると思います。

様々な役職も男女・年齢に関係なく、その年齢ならではの特性を活かして選ぶべきです。若者や女性の新しい視点が、魅力ある町を創るための「新しい風」となるでしょう。

高齢者・若者・女性が互いに意見を出し合い、互いの役割を担っていくことが「魅力ある旭町」に発展していけるのかもしれない。

